

宇治久世 認知症懇話会

—シリーズ・症例を味わう—

今回は一人の若年性アルツハイマー病の症例呈示をいただいて認知症の経過を丹念にたどる試みをしたいと思います。二人の先生からそれぞれの立場でその視点でお話しをいただきます。府立洛南病院の森俊夫先生から診断時からの診療過程を報告していただきます。診療マニュアルで学んだ脳の機能を意識した病状の進展の様子と途中併発された症候性てんかんについてお話頂くとともに、本人・家族の希望や意見を尊重して選択された在宅移行へのプロセスを聞かせていただきます。また、松田かがみ先生には在宅医の立場で進行したステージの認知症を持った人の在宅診療の実情と今後の診療についてご報告していただきます。

かどさか内科クリニック 門阪 庄三

日時

2018年 **11月17日** (土) 18時00分～

場所

京都認知症総合センター 1F 地域交流センター

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻 36-35 TEL: 0774-25-2577

情報提供

「アルツハイマー型認知症治療剤 メマリーについて」 第一三共株式会社

座長

かどさか内科クリニック 院長 門阪 庄三 先生

基調講演

18:00～

『 **認知症疾患の診断と治療**
～京都認知症総合センターの開設からの歩み～ 』

演者

京都認知症総合センタークリニック 所長 川崎 照晃 先生

症例検討

18:30～

『 **症例提示** 』

演者

京都府立洛南病院 精神科 副院長 森 俊夫 先生
まつだ在宅クリニック 院長 松田 かがみ 先生

- ※ 当日はお弁当を準備致しております
- ※ ご参加いただいた確認のため、ご施設・ご芳名の記帳をお願い申し上げます。尚、記帳頂いたご施設・ご芳名は、医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催：宇治久世医師会/第一三共株式会社